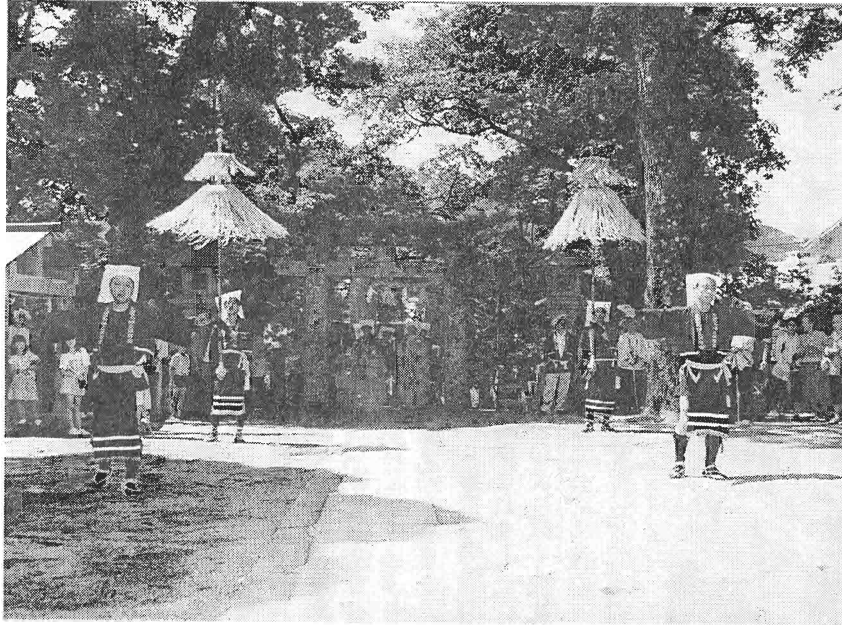


奉祝 皇太子殿下御成婚



6月9日に奉納された化屋名浮立

社報
あそみや

平成5年11月1日
 第10号
 発行所
 阿蘇神社社務所
 多良見町化屋名862
 TEL 0957-43-5235

第六十一回神宮式年遷宮を祝う

宮司 大島 大明

去る十月二日に内宮(皇大神宮)の香も芳しい神宮の遷宮を皆様とともにお祝いをし、慶びたいと思つて、十月五日には外宮(豊受大神宮)の遷宮がそれぞれ浄園の中、厳かに斎行されました。二十年毎に行なわれる、式年遷宮の神秘性と荘厳さはまさに日本の心のよみがえりであり、日本の文化そのものと云つても過言ではありません。

伊勢に行きたい

伊勢路が見たい
せめて一生に一度でも

第六十一回の式年遷宮には、全国より多くの浄財を募りました。阿蘇神社でも氏子各位より賜った浄財を献納いたしております。松

神社では明年三月、伊勢神宮への参拝旅行を計画いたしました。ご近所お友達お誘い合せ、多数ご参加いただきますようご案内申し上げます。

敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であつて、崇高なる精神を培い、大平を開くの基である。

神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を発揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。

ここにこの綱領をかかげて、向かふところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、
 明き清きまことを以て祭祀にいそしむこと

一、世のため人のために奉仕し、
 神のみこともちとして世をつくり固め成すこと

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、
 国の隆昌と世界の共存共栄とを祈ること

皇太子殿下御成婚奉祝祭

厳肅に斎行される

前日よりの雨も上がった六月九日皇太子徳仁親王殿下と雅子妃殿下の御成婚奉祝祭が、多数の参列者のもと厳肅に斎行された。

午前九時御成婚報告祭を行ない祭典終了後、拜殿前で祝賀式を挙行した。先ず参列者一同で東方遙拝を行ない、その後北島総代会長、石丸義雄多良見町長、中村堯氏より祝辞があり、犬塚秀一氏の発声で御成婚を祝し声高々に万歳三唱を行なった。

午前十時には化屋名浮立保存会より浮立が奉納された。化屋名浮立は十年ぶりの披露と云うことで浮立見物を兼ねての参詣者も多く、



笛太鼓の音にあわせ舞う浮立に酔い知れていた。

神社では終日社頭でお祝いの樽酒を振る舞い、御成婚を奉祝しての記帳者には記念品が授与された。記帳者総数は三三一名でした。

神社での奉納を済ませた浮立は終日地区内の庭先廻りを行なった。浮立を奉納されました化屋名関係各位に衷心より厚く御礼申し上げますとともに、今後益々のご発展をお祈り申し上げます。

浮立を奉納されました化屋名関係各位に衷心より厚く御礼申し上げますとともに、今後益々のご発展をお祈り申し上げます。



《寄稿》

化屋名浮立の発展について

化屋名代表 久保政人

化屋名の浮立は、残された記録をみても、これだということはない。今のところ分らない。しかし、その歩みを資料をもとに私的な見地から纏めてみた。

- 1、幕末頃先人の努力によって開発振興定着したようである。
- 2、この目的は、名の発展は勿論名の人々の心の支えであり、健康・連帯協調・友愛の具現化と五穀豊饒を希求するものである。
- 3、これからは名のみでなく多良見町の発展の支えでなければならぬ。

これらのことを考える時に、先人は浮立を披露する意義発展の中に名の氏神様である阿蘇神社も先人の努力で、この地に鎮座、発展していることとあわせてみると、両者は名及び多良見の文化的遺産であり、心の古里創りである。

さて、この浮立も年々発展して古里の文化芸能として根づいたものである。しかし、次代の変遷にあわせて浮立の姿がうすくなった

ようである。

昭和天皇御大典の儀と喜々津中学校落成及び町役場の完成の儀に完全浮立を奉納したことが記録に残されている。

これから、途絶えていたが行政の協力で浮立用大太鼓の購入を期に入魂奉納をして、浮立振興の糸口をつけることができた。

本年皇太子殿下のご成婚の儀に、各関係者の献身的なご努力によって、完全浮立を阿蘇神社へ奉納して庭先廻りを実施することができた。ちまたに、生きててよかった、浮立を見て私の想い出がよみがえったとの声を聞き感激の心で一杯である。

この浮立の発展振興が、人々の心の支えであり地域発展の力であることが判明されたと思う。これを契機に計画・継続的に披露奉納して、ゆくゆくは県の無形文化財の指定を受けるよう努力していく覚悟である。各位のご協力を切望するものである。

恒例 相撲大会終了

九月十五日、恒例の阿蘇神社奉納相撲大会が境内土俵で開催された。阿蘇神社奉納相撲大会実行委員会（会長 松尾義光）の主催によるもので、町内外より参加の子供により団体戦・個人戦及び抜き相撲が行なわれた。

団体優勝 中里子供会チーム
準優勝 阿蘇子供会Aチーム
個人の部

- 六年生優勝 高屋昌法 西川内
- 二位 辻 大輔 喜多津団地
- 五年生優勝 古賀大樹 井樋ノ尾
- 二位 川原一成 木床
- 四年生優勝 石丸善弘 木床
- 二位 大島裕之 阿蘇



団体優勝 中里チーム

阿蘇神社例祭終了

阿蘇神社例祭（くんち）が十月十五日、爽やかな秋晴れのもと斎行された。神前には神社本庁及び長崎県神社庁より幣帛料が供えられ、諏訪神社より奉仕の神職・巫女により神楽舞が奉奏された。

本年は神社本庁より第七期の神社振興対策指定神社に選定されたため、報告祭を兼ねて祭典が行なわれた。祭典後神前において新しく責任役員に就任した森肇氏に委嘱状の伝達がなされた。

総代会便り

八月に責任役員で総代会会長（兼西彼支部総代会副支部長）の北島勇夫氏が逝去されました。多年亘って神社へのご功績に感謝しご冥福をお祈り申し上げます。

◎総代移動 (敬称略)
北島勇夫 退任 (逝去退任)

島田博夫 新任 (大島区)

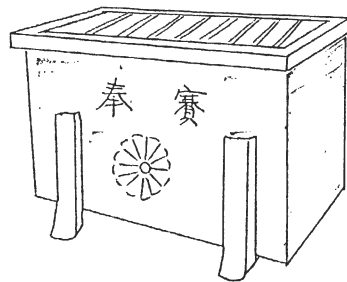
◎総代会役員改選 (敬称略)
責任役員・総代会長 本鳥 吉松
責任役員・同副会長 森 肇

神社 Q & A

賽銭箱

神社仏閣に詣でると正面に必ずと云って良いほど賽銭箱が据えられています。

現在では参拝する時に欠かすことのできない賽銭ですが、古くは菅公の歌に「このたびは幣もとりあへず手向山もみぢのにしき神のまにまに」詠まれていたように幣帛（ミテグラとも云う）として布帛などの品物を供えていました。



また米を神前に撒いたり（撒米）、紙で米をオヒネリにして供えることも日常化

され、当初、賽銭箱はこうした米を受けるものとして置かれ、貨幣経済への移行に伴い、金銭で受けるようになりました。

現在の賽銭箱の起源とされる「散銭櫃」を常設するようになったのは文献上古いとされる鎌倉の鶴岡八幡宮でも、室町後期の天文年間と云われています。

社格制度

社格制度は遠く崇神天皇の御代に天社・国社を定めたのが起源とされています。その後式内社・式外社、官幣社・国幣社等の称号が用いられるようになりました。

明治四年五月の太政官布告で全国の神社を官社と諸社に

二分別し、官社を官幣社と国幣社に分け、各々大中小の社に区分しました。翌年には別格官幣社の称も始められました。

諸社は府県社・郷社・村社に区分され、基準に満たないその他の神社は無各社として取扱うこととなりました。伊勢神宮はこうした社格制度を超越した神社とされ、一般の神社と異なり社格を有しません。なお、阿蘇神社は明治七年、村社に指定されています。

この社格制度は昭和二十年の神道指令により廃止されました。

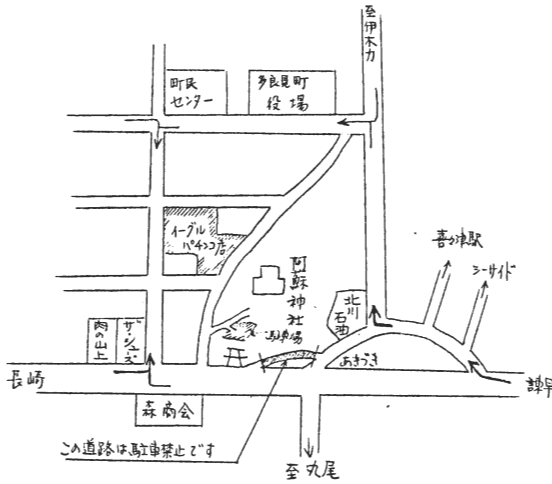
七五三は阿蘇神社へ!!

男女三才は「髪置」、男児五才は「着袴」、女児七才は「帯解」と云い、いずれも子供の成長過程で大切な時機とされています。

七五三のお祝いの年を、阿蘇神社の神様に報告し、健やかに育つよう家族揃って祈願いたしましょう。

平成5年七五三祝 数え年

- 七才 昭和62年生の女児
- 五才 昭和64年生
平成元年生の男児
- 三才 平成3年生の男女



◎神社では十一月十三日(土)、十四日(日)、十五日(月)の三日間は終日祈願受付をいたします。これ以外の日は、地鎮祭などで外に出ることがありますので、前日までに連絡・予約をお願いいたします。

◎なお、十四日(日)には境内で写真撮影もいたしておりますので、ご利用ください。

◎七五三の参拝に自動車でお越しの方は、神社裏イーグルパチンコ店の駐車場を借用しておりますので、ご利用ください。(地図参照)

神社本庁(第七期)

神社振興対策

指定神社となる

去る九月十六日に長崎県神社庁において、神社本庁よりの第七期神社振興対策指定神社の指定書の伝達式が行なわれました。

指定神社とは神社本庁が全国約八万の神社のうちより神社振興の模範となるべき神社を選定するもので、指定を受けることは神社にとって大変名誉なことであり、

当日の伝達式には宮司、本鳥責任役員、笹田総代の三名が出席し、藤本勝喜長崎県神社庁長より指定書の伝達がされました。

第六十一回式年遷宮記念

伊勢神宮参拝旅行のご案内

阿蘇神社では二十年に一度の式年遷宮を記念して左記の通り神宮参拝旅行団を結成いたしました。お誘い合せに参下下さい。

今回の旅行では旧社殿の拝観をして、新社殿の参拝をいたします。定員になり次第締めきりますのでご希望の方は社務所までご連絡下さい。

旅行日 平成六年三月七日(月)

より二泊三日の行程

募集人員 八十名

参加費用 七五、六〇〇円

宿泊地 ◇鳥羽

◇紀伊勝浦温泉

旅行についての詳細は神社までお訪ね下さい。

◆奉納御礼◆

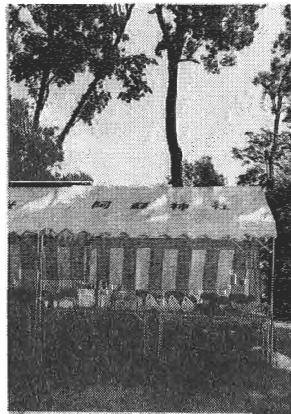
前号以降に以下の通り奉納いただきました。御礼申し上げます。

◎社務所竣工寄付金

化屋名 金子朝美 殿

◎テント一張

喜々津中学校第二十二回卒業生
有志(代表 蔭山 豊) 殿



◎大駐車場完備(阿蘇神社裏)
イーグルパチンコ
神社参拝の駐車場としても
ご利用下さい